

新たな価値を創造するブランド花きの育成

- 実施期間：令和7～11年度
- 担当部署：花き部
- 区分：地域密着型研究

○研究内容

本県は、平坦部では大規模な温室による鉢花や切バラ等が栽培されており、とりわけ鉢物は全国4位の生産量を誇る主要な産地で、花きは重要な園芸品目である。しかし、少子高齢化の進展やライフスタイルの変化により花き需要は落ち込み、生産コストの増大もあって、本県の栽培面積及び生産額は減少しており、経営力強化が喫緊の課題となっています。

流行の変遷が激しい花きは常に新しい品種・品目が求められ、産地では消費ニーズに対応した差別化品目の選定、高品質で均一な商品の提供に努力しており、高単価が期待でき、新たな需要が開拓できる新品目への期待は大きい。そこで、本県の花き生産の維持・競争力強化を図るため、特徴である少量多品目生産に適した新品種・品目を育成します。

フランネルフラワー

- ・オーストラリアが原産、セリ科の多年草で、本県が世界に先駆けて鉢用または有色の品種を育成しました。
- ・花卉の横に見える総苞片が毛織物のフランネルと同じ柔らかな触感であることから、名付けられています。



「四季咲き多花系の鉢花・切花」

バラ

- ・ヒマヤ周辺が原産とされ、バラ科バラ族の小低木で、本県が国内公認式では最初となる登録品種を育成しました。
- ・三大切花品目の一つとされ、様々なシーンで重宝されており、本県においても、主要な切花生産品目となっています。



「希少な花色・花形の系統」

カレンジユラ

- ・北アフリカが原産のキク科の常緑多年草で10月～5月まで長期間開花します。
- ・耐寒性が強く、氷点下でも生存し、5℃以上の気温があれば生育するため、冬の花壇にも利用が可能です。



「低草姿系」

「高性小輪多花系」

ローダンセマム

- ・北アフリカ等が原産、キク科の多年草で、花を次々と咲かせ長期間楽しむことができます。
- ・耐寒性は強く、-10℃でも生存し、5℃以上あれば生育可能なため、冬の花壇にも利用できます。



「退色の少ない濃桃色」 「濃黄色の早生系」